

シラバス (授業計画)

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
経営学特論	1・2年生	選択	2単位	片山准一
<p>授業の到達目標及びテーマ 企業の経営行動とビジネス倫理を歴史的・論理的にとらえる。 企業行動を客観的に直視し、ビジネス倫理に関する基本的な考え方を習得することを到達目標とする。</p>				
<p>授業の概要 企業は、ヒト、モノ、カネ、情報等を駆使して熾烈な企業間競争を闘い抜いている。こうした競争に勝ち抜くために、企業は時として不正行為を行うことがある。近年では、例えば、某T芝社が長年にわたって不適切な会計処理を行ってきたり、某A化成建材会社が短小のクイ打ちをしてクイの残る仕事をしたり、某K戸製鋼が製品強度データの改竄をしたり、某N産自動車完成検査の不正を行ったり。こうした企業の不正行為は枚挙に暇ない。 本講義では企業のガバナンス問題や CSR (企業の社会的責任) 等を視座にビジネス倫理を中心に論じていきたい。</p>				
<p>授業計画 第1回 はじめに 第2回 資本概念と資本の循環・回転について 第3回 資本及び、資本家について 第4回 生産過程 (協業・分業) について① 第5回 生産過程 (機械制大工業) について② 第6回 生産管理 (テイラー・システム) について① 第7回 生産管理 (フォード・システム) について② 第8回 企業形態の展開について 第9回 株式会社について 第10回 コーポレート・ガバナンスについて① 第11回 コーポレート・ガバナンスについて② 第12回 企業間競争と独 (寡) 占化について① 第13回 企業間競争と独 (寡) 占化について② 第14回 環境 (公害) 問題について 第15回 経営学特論 (ビジネス倫理) の総括 第16回 レポート作成</p>				
<p>履修上の留意点、準備学習等 (事前・事後学習) 事前：最低限ネット検索で良いので、下調べをしておくこと。(120分) 授業中、基本的な質問を行うので、回答できるように準備しておくこと。 事後：講義内容を、文献等で確認・復習すること。(120分)</p>				
<p>テキスト 使用しない。適宜、資料を配布する。</p>				
<p>参考書・参考文献・参考資料等 馬場克三著『経営経済学』(税務経理協会) 講義の進捗度に沿って適宜、紹介する。</p>				
<p>成績評価の方法・基準 授業中の質疑・応答、報告、レポート等によって総合評価する。</p>				